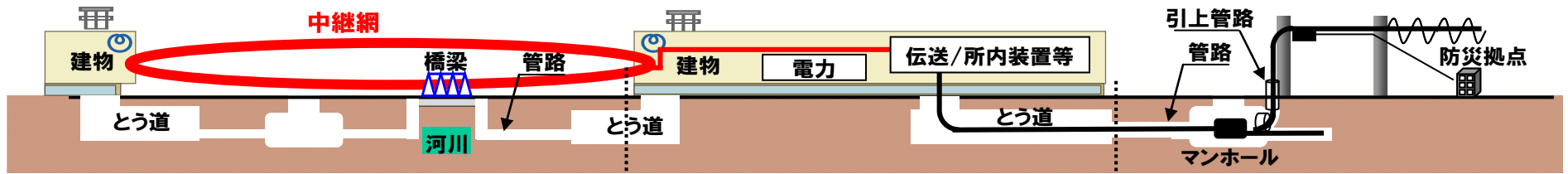


5. 『安全・安心・信頼』への取り組み

具体的な取り組み

今後想定される南海トラフ巨大地震等の大規模災害への対策を、防災3ヵ年計画として平成24年度より計画的に実施 ～3ヵ年で約100億円の設備投資を実施予定～

- ▶ 発災時に通信を途絶えさせない中継網・通信ビルの整備（中継ルート見直し、通信ビルの防水性向上）
- ▶ 早期復旧(概ね3日以内の仮復旧)に向けた地下区間の減災化
- ▶ 地域における防災・減災活動への貢献 → 避難所等への特設公衆電話の事前設置(約1.5万ヶ所を想定)
 → 自治体へのBCP提言活動(市民参加型ハザードマップ作成 等)



防災対策の方法	線（中継網）	点（通信ビル/電力設備）	面（アクセス設備）
	通信を途絶えさせないための整備		早期復旧(概ね3日以内の仮復旧)のための整備
	中継ルートの質の向上	通信ビルの防水性向上	地下区間の減災化/早期復旧
	① 架空ルートの地下化 ② 中継ルートの見直し ・ 山側ルートの新設 等 ③ 橋梁添架区間の迂回ルートの確保 ④ とう道の浸水対策	① 扉の補強(水防扉へ更改) ② 壁の補強(コンクリート増打) ③ 窓等開口塞ぎ ④ 非常用発電機の露出吸排気ダクトの防護	① ケーブル移動防止金物の設置 <マンホール～引上管路間> ② 復旧用引上管路の確保 等